

静岡県における広域化・共同化 に向けた取組みについて

静岡県交通基盤部都市局生活排水課



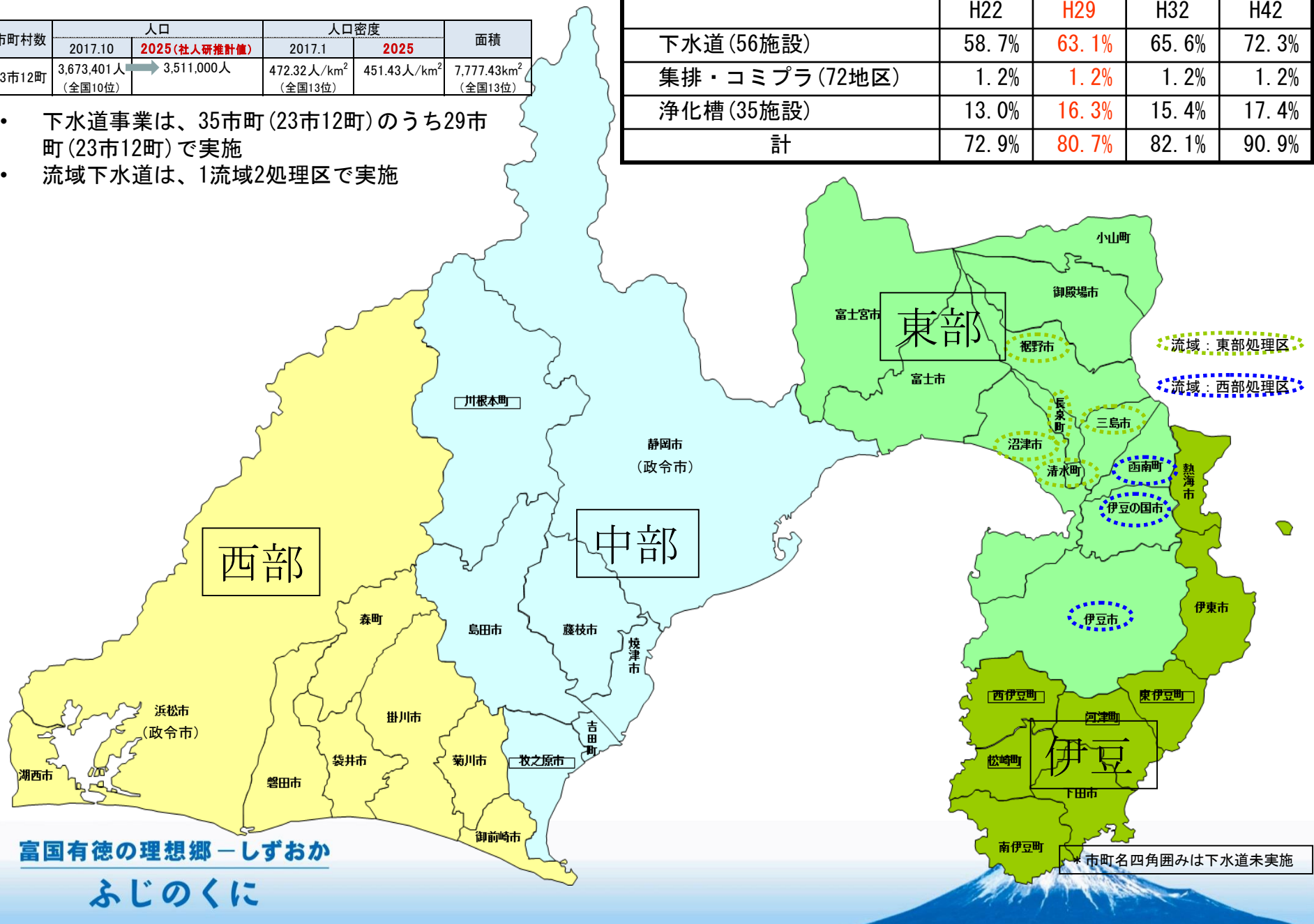
静岡県の概要 1

静岡県生活排水処理長期計画 (H26. 3)

市町村数	人口		人口密度		面積
	2017.10	2025 (社人研推計値)	2017.1	2025	
23市12町	3,673,401人 (全国10位)	3,511,000人	472.32人/km ² (全国13位)	451.43人/km ²	7,777.43km ² (全国13位)

- 下水道事業は、35市町(23市12町)のうち29市町(23市12町)で実施
- 流域下水道は、1流域2処理区で実施

	H22	H29	H32	H42
下水道(56施設)	58.7%	63.1%	65.6%	72.3%
集排・コミプラ(72地区)	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%
浄化槽(35施設)	13.0%	16.3%	15.4%	17.4%
計	72.9%	80.7%	82.1%	90.9%



富国有徳の理想郷 - しずおか
ふじのくに

* 市町名四角囲みは下水道未実施

静岡県の概要 2

市町村合併による変化

	合併前	合併後
市町村数(H14.3)	74市町村(21市49町4村)	35市町(うち2政令市)(23市12町)
事業実施市町村数	51市町村(市の未着手なし)(21市29町1村)	29市町(うち1市未着手)(22市7町)
静岡県流域下水道	4流域5処理区(下水道公社に管理委託)	1流域2処理区(直営+包括的民間委託)
静岡市	処理場:6、職員:267人、委託費:1,040百万円	処理場:7、職員:192人、委託費:1,960百万円
浜松市	処理場:10、職員:208人	処理場:11、職員:105人

ブロック別下水道事業の規模(管理委託)

	全県	伊豆	東部	中部	西部
下水道担当職員数(人)	637	29	184	241	183
管理委託費(百万円)	9,930	827	3,823	1,905	3,374
汚泥処理委託費(百万円)	1,799	87	490	696	525
処理水量(千m ³ /日平均)	1,116	53	263	435	365
m ³ あたり単価(円/m ³)	28.80	47.62	44.77	16.40	29.29

(参考1) し尿処理事業(歳出:H28): 10,189百万円

(参考2) ゴミ処理事業(歳出:H28): 49,774百万円

富国有徳の理想郷 - しずおか

ふじのくに



静岡県のこれまでの動き

年月日	取組内容	摘要（主な意見等）
H29. 12	広域化・共同化検討のモデル県の一つに選定される	
H30. 1	広域化・共同化に関し県内市町にアンケートを実施 （市町が抱える課題の抽出、広域化・共同化に関する意向調査）	課題な指標：①経費回収率、②普及率、③使用料単価 広域連携可：10市町／27市町
H30. 2. 1	第1回汚水処理施設の広域化・共同化に関する意見交換会 （広域化・共同化計画について、今後のスケジュール、アンケート結果について）	他部局の取りまとめは？、課長会でも説明を！、水道事業も視野に！、先進地の事例紹介を！
H30. 3. 23	第2回汚水処理施設の広域化・共同化に関する意見交換会 （先進事例の紹介、ブロック分けとモデルブロックについて）	
H30. 4. 3	副市長・副町長合同連絡会議 （広域化・共同化に関する庁内検討体制構築のお願い）	
H30. 5. 9	広域化・共同化に関する県・政令市意見交換会 （合併後の現状・課題）	故障等による緊急時の相互利用、維持管理や人材支援・統合の可能性検討、余剰能力があれば汚泥受入可
H30. 5. 25 ～6. 5	市町アクションプラン策定状況ヒアリング （他事業の取り込み、他市町との接続の有無）	
H30. 6. 19	町村会総会・町長会議 （10年概成と広域化・共同化に関する庁内検討体制構築のお願い）	
H30. 6. 28	第1回西部ブロック検討会議（ワークショップ） （①汚水処理に関する課題、②広域化・共同化に取り組みそうなこと）	①：人員不足、汚泥処理、 ②：維持管理の共同発注、汚泥処理の共同化
H30. 7. 25 ～7. 5	西部ブロックでSWOT分析のためのアンケートを実施	
H30. 8. 7	第2回西部ブロック検討会議（ワークショップ） （汚泥処理、人材委育成講習会、使用料徴収事務、維持管理、広報・PR活動）	「人材育成・講習会、広報・PR活動」は可能、料金徴収は一部に実際の動きあり、汚泥は困難
H30. 9. 25 ～10. 5	西部ブロックでABCアンケートを実施	



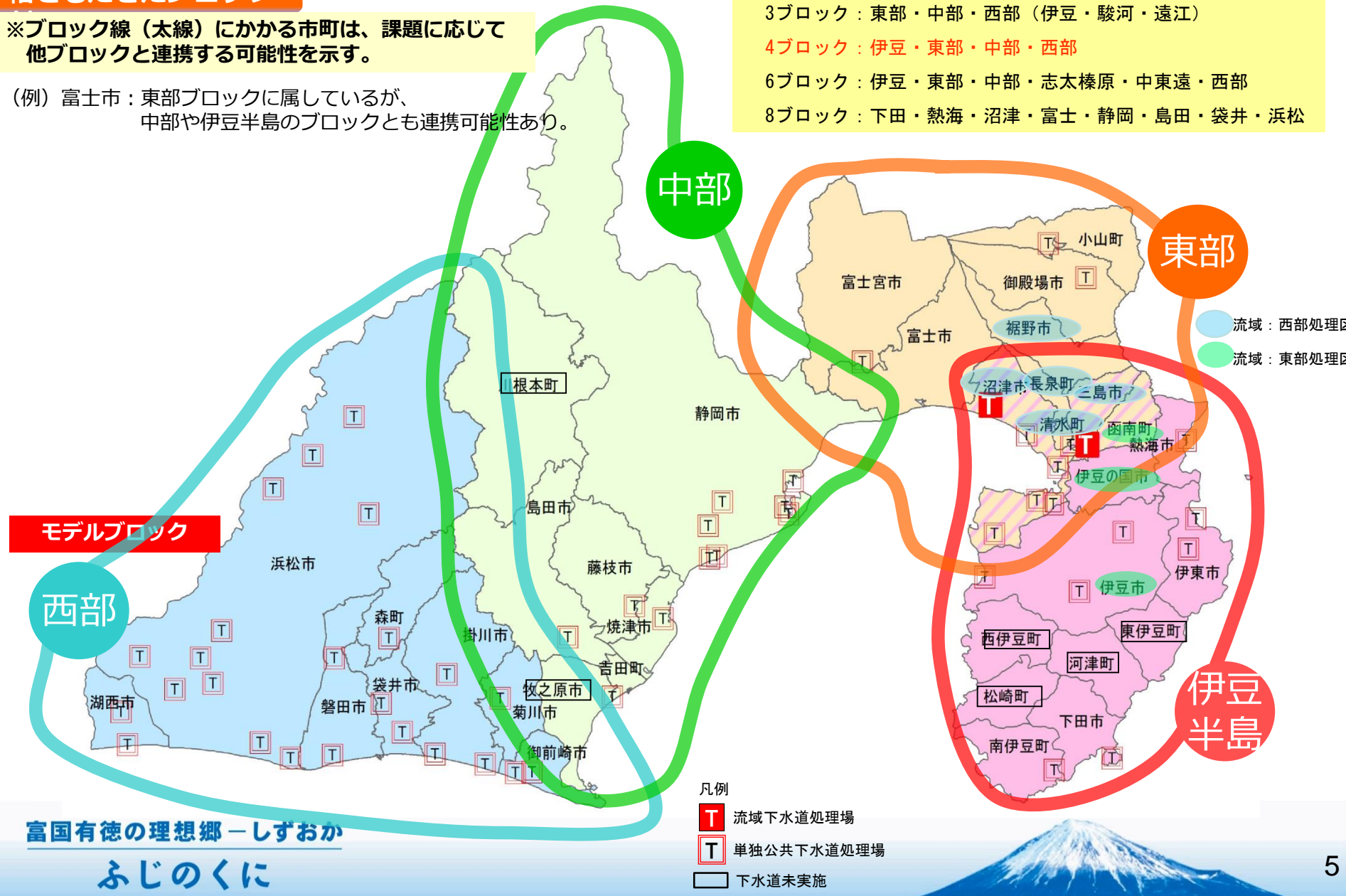
広域化・共同化計画検討ブロック

幅をもたせたブロック

※ブロック線（太線）にかかる市町は、課題に応じて他ブロックと連携する可能性を示す。

（例）富士市：東部ブロックに属しているが、中部や伊豆半島のブロックとも連携可能性あり。

- ### ブロックの考え方
- 3ブロック：東部・中部・西部（伊豆・駿河・遠江）
 - 4ブロック：伊豆・東部・中部・西部
 - 6ブロック：伊豆・東部・中部・志太榛原・中東遠・西部
 - 8ブロック：下田・熱海・沼津・富士・静岡・島田・袋井・浜松



今後の方向性

西部ブロック (モデルブロック)	伊豆半島・東部・中部ブロック	全県 (都道府県構想)
<p>【第3回検討会(11月頃)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ABCアンケートによる業務量精査 ・ ソフト統合の効果試算 人材育成・講習会、広報、PR活動 ・ ハード統合の効果試算 隣接市町の集排受入 汚泥の共同処理 <p>【個別意見調整(12月～1月)】</p> <p>【第4回検討会(2月頃)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域化・共同化ブロック計画(案) 	<p>【調査・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SWOT分析の実施 ・ ABCアンケートの実施 <p>【ブロック検討会】</p> <p>西部ブロックに準じて3回～4回</p>	<p>【事例検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県下水道公社の役割の検証 ・ 市町村合併による効果の検証 ・ 最適配置計画(流総)の検証 ・ 事業概成後の持続可能性の検討 (モデルGの活用などによる) ・ 広域汚泥処理の検討 ・ 統合によるメリットや課題の整理 <p>【あり方検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発注支援(管理委託等) ・ 人材派遣(モニタリング等) ・ 負担の公平性 (下水道・集糞排水・し尿処理)
<p>当面の計画(案)策定期限：H30年度末</p>	<p>当面の計画策定目標：H31年度末</p>	
<p>最終計画策定期限：H34年度末</p>		



ご静聴ありがとうございました

富国有徳の理想郷－しずおか

ふじのくに

